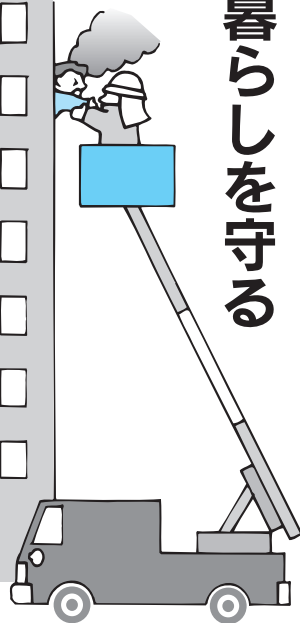


暮らしを守る

知多南部消防署です

☎64-0119



# 少年消防クラブ員の 愛知県消防学校 一日入校体験

知多南部消防組合では、管内の小  
学校5・6年生児童で結成している  
少年消防クラブ員に消防についての  
関心を深めてもらい、クラブ員相互  
の親睦を図るため、毎年、尾張旭市  
にある愛知県消防学校で行われる  
「一日入校体験」に参加しています。  
今年も去る7月31日(金)に各クラブ  
員の代表79人が入校しました。入校  
したクラブ員の中から代表して2人  
の体験作文を紹介します。

## 消防学校に行って学んだこと



野間小学校  
6年 内田さくら

私の班は、最初に消防車の説明を  
してもらいました。中には、いろ

ろな道具が入っていて、使い方がわ  
からないものがたくさんありました。  
また、消防隊員の方が救助のときに  
背負う酸素ボンベはかなり重くて、  
酸素ボンベを背負って人を救助する  
というのは、すごく大変なことだ  
と思いました。

地震体験では、野間にも東日本大  
震災以上の、南海トラフ巨大地震が  
来ると言われているので、そのこと  
を意識しながら訓練をしました。ま  
た、煙道体験では、前がまったく見  
えず、学校でいつもやっている訓練  
とは全然違ってとても怖かったです。  
放水体験では、防火服を着るとす  
ごく動きにくかったです。そして、  
水が出るとホースは少し重たくなり  
ました。また、規律体験などは、す  
ごく大きな声で命令をしたり、「〇〇  
よし！」と言ったりしていたので、  
大きな声で確認したり、命令をかけ  
たりすることは大切なのだと思います。

このような体験をして、消防士の  
人はつらくて大変な訓練をしている  
けど、たくさんの人を助けるため  
にがんばっているということを、改め  
て感じました。

消防車の説明をしてもらっている  
とき、遠くの建物の方で綱にぶら下  
がって訓練をしている人たちが見え  
ました。立っているだけでもすごく  
暑いのに、そんな厳しい訓練をして  
いてすごいと思いました。私だっ

らちょっと無理かなと思いました。  
また、このような厳しい訓練を積み  
重ね、実際に火事になったとき現場  
で活躍できるようにするまでには、  
どれくらい訓練をするのが気がな  
りました。

今回の体験で、消防士の方々はわ  
たしたちの命を守るために日々訓練  
に励んでいることがわかりました。  
それと同時にわたしたちも火事など  
で、消防士の人たちが出勤すること  
が少なくなるように、みんなが気を  
つけることが大切なのだと思います。

## 心に残った消防体験



河和南部小学校  
6年 須田奈津芽

私は、知多南部消防署にしか見学  
に行ったことがなかったので、消防  
体験はどんなところでやるのかなと  
少しどきどきしていました。

消防学校に到着すると、あまりの  
広さにびっくりしました。いろいろ  
な施設があって体育館や運動場もあ  
り、河和南部小学校の何倍もの広さ  
がありました。消防士さんは毎日、  
ここで訓練しているのです。すごいな  
と思いました。



私たちはまず入校式してから七  
つの体験をしました。地震体験や煙  
道体験などをしましたが、心に残っ  
たものは二つあります。一つ目は放  
水体験です。消防士さんがいつも着  
ている服と手ぶくろを私たちがつけ  
て水を出します。そのときに思った  
のが服がとても重かったことです。  
それを火事があるときに着ないとい  
けないので大変だなと思いました。  
あと、水を出すときに水のいきおい  
がすごいなと思いました。

二つ目は、規律体験です。消防士  
の人はみんなてきぱき動いていまし  
た。すごいなと思いました。いざ自  
分がやるとなかなかてきぱきできま  
せんでした。

これらの体験がこれから役に立つ  
といいなと思いました。